

# 21・老福連 第12回職員研究交流集会



—いまこそ『福祉復興宣言』—

～持ち寄ろう希望、持ち帰ろう元気！～

## 開催要綱

- **日時** 2012年 12月8日（土）～10日（月）
- **会場** 12月8日・10日 岡山県総合福祉会館 / 9日 岡山大学
- **参加費** 3日間 10,000円 2日間 8,000円 1日間 6,000円  
2日目夜 懇親会 9,000円
- **主催** 21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会（略称＝21・老福連）
- **後援** 岡山県 岡山市  
岡山県社会福祉協議会 岡山市社会福祉協議会

## 参加の呼びかけ

### 全国の老人福祉施設関係者のみなさん

私たち「21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会」(略称：21・老福連)は、実践交流と連携を目的とした老人福祉施設の連絡組織として、2002年6月に発足いたしました。発足にあたって、

- ① 介護保険の混乱と矛盾から高齢者を守る立場で、公的福祉の確立をめざすとともに、真の高齢者福祉、介護保障のあり方について実践も含めた意見交換を活発に行う
- ② 高齢者主体の援助実践、ケアの質、暮らしの内容を豊かにするため、「職員研究交流集会」を開催する
- ③ 老人福祉の向上をめざす活動、社会保障を守る活動などを諸団体と共同、連携し、積極的に進める

これらを目的に掲げ、毎年「実践・交流・連携」を重ねてきました。

大地震・大津波・原発事故、未曾有の三大災害時だからこそ社会保障・社会福祉とは、どうあるべきかを昨年の山形集会から引き継ぎ、この思いを「いまこそ福祉復興宣言」という集会テーマとして、岡山集会でも考えていきたいと思えます。多くの高齢者福祉に携わる全国の仲間が希望をもちより、元気を持ち帰れる職員研究交流集会となるよう多くの方々のご参加を、晴れの国岡山にてお待ちしております。

## 日時

2012年 12月 8日(土) 13:00~18:00  
9日(日) 9:00~16:00 ※懇親会 18:00~  
10日(月) 9:00~12:30

## 会場

12月8日・10日 全体会 岡山県総合福祉会館  
9日 分科会 岡山大学

## 参加費

3日間 10,000円 2日間 8,000円 1日間 6,000円  
2日目夜 懇親会 9,000円

## 主催

21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会(略称 21・老福連)  
Tel06-6770-1600 Fax06-6770-1611  
E-mail [roufuku@siren.ocn.ne.jp](mailto:roufuku@siren.ocn.ne.jp) <http://www.roufukuren.jp/>  
➤ お問い合わせ先 ◇現地実行委員会事務局◇  
社会福祉法人岡山中央福祉会 ケアハウスあかね(担当:狩野)  
Tel086-944-2197 Fax086-944-2249 E-mail [akane@giga.ocn.ne.jp](mailto:akane@giga.ocn.ne.jp)

## 申込方法

別紙、名鉄観光からのご案内文書をご確認の上、「参加申込用紙」に必要事項をご記入いただき、FAXにて名鉄観光にお申込ください。

★ 参加申込締切 10月8日(月) ★

申込受付後、11月上旬より名鉄観光から、参加確認書(参加券・宿泊利用券など)と請求書・振込依頼書をお送りいたします。

## テーマ

—いまこそ『福祉復興宣言』—  
～持ち寄ろう希望、持ち帰ろう元気！～

## 目的

東日本大震災、原発事故を経験した東北・山形集会から引継いだ福祉への思いをさらに考えていきましょう。  
そして、介護報酬の改定によって現場では、大混乱。「どうなってるの。介護保険！」この思いを全国の仲間と交流していきましょう。

## プログラム

### 1日目 12月8日(土) 《全体会》

11:00～	受付開始 (早めに受け付けを済ませ近くの観光 (後楽園・美術館など) はいかがでしょうか)
12:30～ 12:40	歓迎セレモニー
12:40～ 13:00	開会挨拶・オリエンテーション
13:00～ 14:40	☆21・老福連からの基調報告・介護報酬改定のレポート報告 講師：正森 克也氏 (21・老福連事務局長)
14:40～ 15:00	休憩
15:00～ 18:00	☆シンポジウム 「東日本大震災による原発事故、放射線被害の実態を知り考えていこう」

### 2日目 12月9日(日) 《分科会》

08:30～	受付開始
09:00～ 16:00	10分科会・24分散会 皆さんの日頃の熱い取り組みを報告し合い、 意見を交流しながら「福祉復興」のため、私たちの思いや誇りを主張していきましょう。

### 《交流会》

18:00～ 20:00	豪華な料理とおいしいお酒に舌鼓を打ちながら、お互いに交流を深めましょう。 見て・聞いて・参加して楽しい催しを企画しています。
-----------------	---

### 3日目 12月10日(月) 《全体会》

08:30～	受付開始
09:10～ 10:40	☆記念講演Ⅰ 「デンマークの選択」 講師：野口 典子 氏 (中京大学教授)
10:40～ 11:00	休憩
11:00～ 12:00	☆記念講演Ⅱ ラフター (笑い) ヨガ「笑って元気! 楽しいヨガ」 講師：廣江まさみ氏
12:00～ 12:10	閉会式・次回開催地挨拶

12月8日(土) 10(月)

● 基調報告  
● 介護報酬改定のレポート報告

8日(土) 13:00~14:40

「2012年度介護報酬改定による “福祉・介護現場からのレポート集” の報告」

講師：正森 克也氏 (21・老福連事務局長)

2012年度の介護報酬の改定によって利用者負担とサービス削減、報酬削減と職員処遇改善先送りをされ、介護現場では、大きな混乱がもたらされています。21・老福連では、現場の深刻な実態をレポート集にまとめています。事例を通して一人ひとりの生命の尊厳、安心した生活を守るための真の社会保障、介護保険制度を考えていきましょう。

● シンポジウム

8日(土) 15:00~18:00

「東日本大震災による原発事故、放射能被害の実態を知り考えていこう」

コーディネーター 廣末 利弥氏 (21・老福連代表幹事 社会福祉法人七野会 理事長)

シンポジスト 佐藤 和子氏 (福島県 特別養護老人ホームはなしのぶ 施設長)

シンポジスト 藤原 秀文氏 (広島県福島生協病院 医師)

大塚 愛氏 (川内村からの避難者)

被災地支援に取り組む青年代表 (花・PROJECT 岡山)

昨年の東日本大震災は、津波の被害だけでなく原子力発電所の事故による目に見えない放射能による被害が福島の人々の生活に影を落とし今後の生活も見通しのないものになっています。被災施設からの実態や、避難者からの報告、また、放射能の専門家による報告などを聞き、原発問題を考えてみましょう。

● 記念講演Ⅰ

10日(月) 9:10~10:40

「デンマークの選択、そこからなにを学ぶのか」

講師：野口 典子氏 (中京大学教授)

デンマークは1980年代後半に障害者・高齢者福祉施策の基本路線の変更を行いました。「施設をつくらない」ということから、在宅中心主義を打ち出しました。福祉国家という枠組みを存続したまま、福祉や医療の効率化という課題に取り組みはじめました。こうしたデンマークの選択から私たちはなにを学ぶことができるのか、考えてみたいと思います。

● 記念講演Ⅱ

10日(月) 11:00~12:00

「笑って元気! 楽しいヨガ」— ラフターヨガ — 講師：廣江 まさみ氏

ラフターヨガは、笑いとヨガの呼吸法を組み合わせたエクササイズです。誰でもすぐにでき冗談、ユーモア、コメディに頼らない「ただ笑うだけの」画期的なエクササイズです。元気を持ち帰って下さい。

～分科会～

NO	分科会名	テーマ	分科会	分科会名	座長	助言者
A(施設ケア)	施設でその人らしい暮らしを支える	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームの中の生活の工夫や、認知症個別ケアへの取り組み実践を待ち寄りましょう。入居から看取りにわたるその人の人生を支えた実践や、最期まで食べさせる大切さを追求した実践事例をもちより学び合いましょ。</li> <li>その人のQOLから繋がるリハビリや外出支援などの取り組み</li> <li>排泄ケアや入浴ケア、口腔ケアなどの工夫実践</li> <li>認知症高齢者が安心して生活できる為の創意工夫の実践</li> <li>認知症高齢者の尊厳を大切にされたケアの取り組み</li> <li>高齢者の「その人らしい暮らし」を支える取り組み</li> <li>生活の延長にある看取りケアの実践</li> <li>最期まで食べさせる事を大切にされた取り組み実践</li> <li>チームケア、多職種協働による食生活の取り組み</li> <li>調理現場における個別対応実践</li> <li>嚥下障害や食欲不振、認知症による摂取量低下等への栄養改善の取り組み</li> <li>栄養ケアマネジメントの取り組み実践</li> <li>調理の工夫、サービス機関との連携・地域資源の活用</li> </ul>	A-1(日常ケア) 豊かな日常を支える	北海道 かりぶ、あつべつ 施設長 田名部 みどり 新潟 しおかせ荘 施設長 富山 しらいわ苑 生活課長 岩河 さゆり 部長 鳥根 ひまわり園 須田 英男 熊本 たくまの里 ※調整中 大阪 いこのこの里 副施設長 吉川 幸志 千葉 やわら木苑 菅 理栄養士 高原 由香 広島 くすの木苑 ※調整中	※調整中 岡山 けしこの里 施設長 安東 しのぶ 岡山 (有)フェルエイト 代表取締役 荻野 金りや 愛知 ソルハーニアかりや 施設長 早川 昌宏 高根 長希園 生活相談員 坂本 由美子 長野 ゆい 施設長 飯島 すづ江 岡山 健生園 栄養部 主任 池太 玲子 東京 みやま大樹の苑 施設長 稲垣 瑞恵	
B(医療)	施設・在宅の医療や健康管理を考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療・健康管理をはじめとする様々な実践を持ち寄り学び合いましょ。</li> <li>施設・在宅における医療の在り方と医療機関連携</li> <li>医療ニーズへの対応と課題</li> <li>皮膚ケアの充実 褥瘡予防</li> <li>感染症予防対策</li> <li>看取りケアの専門職としての実践</li> </ul>	B(医療)	大阪 槻ノ木荘 施設長 弟子丸 孝子	岡山 さくら苑 看護師長 草賀 文江	
C(在宅)	在宅生活を支える施設役割を考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅生活を支えるデイサービスやショートステイのあり方や役割、課題について議論し検討します。</li> <li>ショートステイならではの課題、難しさ、工夫した取り組み</li> <li>ショートステイの受け入れ・医療依存度の高い利用者の受け入れについて</li> <li>認知症高齢者のショートステイ</li> <li>緊急ショート、虐待保護、多問題家族の対応支援</li> <li>ショート中の洗濯、荷物点検、服薬の管理について</li> <li>初回アセスメントとリスクの把握</li> <li>在宅での医療処置の継続が必要な利用者への対応</li> <li>ホームの社会的役割、デイサービスとの連携した取り組みや課題</li> <li>デイサービスの役割、認知症高齢者、虐待保護、他問題家族の対応支援</li> </ul>	C-1(短期入所) 短期入所の取り組みを中心に	京都 原谷こぶしの里 ※調整中 兵庫 葦葉苑 施設長 小林 浩司	千葉 やわら木苑 部長 阿部 孝志 福岡 いきいき八田 施設長 山本 明美	
D(ケアハウス等)	有料ホーム・ケアハウス・高専賃など多様な住まいの機能と役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉施策の観点から厚生労働省が、また国土交通省が住宅施策の観点からと多様な住まいがつけられてきています。ケア付き住宅、有料老人ホーム(住宅型、介護付き)、高専賃、高専賃などこれらが「老後の住まい」の保障になりうるのか、どうすれば安心の住まい「終の棲家」になり得るのか、実践例を持ち寄り現状と課題を把握していきましょ。</li> <li>多様な住まいの機能と役割、運営の問題・課題</li> <li>認知症ケア</li> <li>重度化の対応</li> <li>医療ニーズへの対応</li> </ul>	D(ケアハウス等) ケアハウス・有料老人ホームなど	岡山 つくしんぼ 主任 杉本 裕美 広島 ケアハウス福山 主任 藤井 健 鳥根 すずらん ※調整中	大阪 結いの里 副施設長 阿部 裕一郎 京都 原谷こぶしの里 ※調整中 愛知 すこやか の里 施設長 阿蘇 広志	

E(養 護)	養護老人ホーム の役割と課題	<p>新制度移行後のいろいろな影響や課題、利用者の重度化の中での対応等について論議しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治体への働きかけ、低所得者・社会適応困難高齢者の実態</li> <li>養護老人ホームのあり方、事例交流</li> <li>「外部利用型」の導入など制度転換への実態と対応</li> <li>シヨートステイの取り組み</li> </ul>	E(養護)	養護老人ホーム	大阪 城東養護老人ホーム 副施設長 横山 道夫	岡山 会陽の里 施設長 藤岡 理恵
F(地 域)	地域で暮らし続ける	<p><b>(訪問介護)</b> 「住み慣れた家で、その人らしく長期まで」そんな在宅生活は『高령の花』…? 度重なる制度改定に、利用者・家族はもとより、事業所も大きく影響を受けています。在宅での看取り、独居の認知症の人を支える緊密なネットワークの構築も急務です。今こそ、訪問介護の重要性を再認識し、問題を共有していきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登録、パート、常勤だつて、みんな同じプロ…雇用形態の悩み</li> <li>サービス提供責任者の主張…「やりがいはあるけれど、何とかしてよ! この現実」</li> <li>生活援助の奥深さ…「その人らしさを支え、今日も明日も生活できる」を支える</li> <li>ヘルパーの抱う「医療行為」…研修制度、事故のリスクなど考えておきたい事</li> <li>この家で最期まで…在宅での看取りの実践</li> </ul> <p><b>(グループホーム)</b> 地域密着型サービスとして、地域の中におけるグループホームのあり方や重度者や看取りの対応等ケアの質が問われています。グループホームならではのケアや課題を持ち寄り討議していきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループホームでのケアのあり方、「看取り」「家庭復帰」などの実践</li> <li>グループホームと地域の関わり、連携</li> </ul> <p><b>(小規模多機能施設)</b> 住み慣れた地域で暮らし続けるため「通い」「訪問」「泊まり」のサービスとして期待されましたが、介護報酬上の問題や小規模多機能としての役割など、メリットとともに多くの問題が浮かび上がってきています。取り組みや課題について多くの人に知ってもらってほしい検討していきましょう。</p> <p><b>(居宅介護支援・地域包括支援・在宅介護支援センター・特養相談部門)</b> 高齢者は地域の中で暮らしていく中でたくさんの方の問題を抱えています。住み慣れた地で、安心して生活していけるような地域づくり、コミュニケーションについて、また介護保険がありながらも在宅生活が困難な状況にある方への関わりなど、実践例や課題を持ち寄り議論していきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケアの新たな役割の課題</li> <li>地域づくりの取り組みについて</li> <li>権利擁護について(虐待防止・早期発見・権利擁護の活動報告)</li> <li>介護予防事業への取り組みについて(周知活動・対応チームについて)</li> <li>養護者の支援・行政との連携・成年後見制度)</li> <li>認知症ケアへの取り組みについて</li> <li>事業所の運営とケアマネジャーの「質の向上」への取り組みについて</li> <li>多問題家族や一人暮らし、老老介護、認知介護など困難事例への取り組み</li> <li>在宅における看取りへの取り組み</li> </ul>	F-1(訪問介護)  F-2(グループホーム)  F-3(小規模多機能施設)  F-4(介護支援専門員等)	ホームヘルプサービスを中心に	兵庫 あしや喜楽苑 施設長 田中 喜代子	岡山 リ・ファインデイ サービスセンター 代表取締役 天納 久貴

G(安心・安全)	安心・安全な生活を送る。	<p>安心できる生活、安全が確保される生活とは、日常生活のなかにもさまざまなリスクが存在します。リスクへの対応をどのようにとらえるかで、生活の有り様が変わることがあります。事故予防の取り組みや体制づくり、職員への教育や学習活動について、人員配置や環境整備などの取り組みについて持ち寄り議論しましょう。また、東日本大震災を経験し、そこから見えてきたものについても考えていきたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束防止の取り組みと課題</li> <li>・虐待防止の取り組み</li> <li>・オンブズマンや第三者機関活動の実例</li> <li>・個人情報管理</li> <li>・その人らしさ、自由、プライバシーを守るケアの実践</li> <li>・事故防止の取り組みや体制、家族との連携・信頼づくり</li> <li>・ヒヤリ・ハットとを活かす</li> <li>・発生した事故から学んだこと</li> <li>・転倒防止の工夫</li> <li>・事故対策のマニュアルとその活かし方</li> <li>・東日本大震災を経験して</li> <li>・危機管理について</li> </ul>	G(安心・安全)	安心・安全な生活	宮城 宮城野の里 施設長 小野 ともみ	福島 おおつき ※調整中
H(職場作り)	誇りと自信を持ち働きがい、やりがいのある職場づくりを考える	<p>自分自身が充実していなければ、他の誰かを援助することは難しくなることがあります。高齢者を介護する場合でも、職員が元気に取り組めることがその職場を盛り上げることになるでしょう。そのような職場づくりをどのように進めるか、取り組みの事例などを持ち寄り、課題や問題解決のヒントを考えましょう。仕事への誇り、取り組みでいる事への自信、働きがいのある、やりがいを持つ職場づくりについて話し合い、役立てるようにしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新人職員の主張</li> <li>・中堅職員の悩み、役割と課題</li> <li>・自分の考えや意見を本音でぶつけあい、職場の問題に取り組んだ事例</li> <li>・組織の活性化につながる取り組み</li> <li>・職場のストレスマネジメントやメンタルヘルスについて</li> <li>・管理職や上司に言いたいこと、望むこと</li> <li>・研修制度や体制について、人材育成の工夫について、育成の悩みなど</li> <li>・チームワークや協力・連携への課題など</li> </ul>	H(職場作り)	職場作り	兵庫 ひょうご聴覚障害者福祉事業協会 事務局長次長 中村 公三	滋賀 野洲慈恵会 理事長 市原 邦雄
I(介護者を支える)	家族介護者を支える	<p>介護保険は「介護の社会化」をうたっていますが、依然として家族介護に頼る実情があります。在宅介護と施設介護の費用や介護負担の違いなど課題は山積していることに加え、在宅介護者の4人に1人はうつ傾向がみられる、心身疲労を抱えているなどの報告もあり、介護者支援は重要課題といえます。利用者を支えるために、利用者ご本人のみならず、家族等の介護者を対象とした援助技術や支援体制、介護者同士の支援等ネットワークの構築、地域のインフォーマルな共同組織などの取り組みや課題を持ち寄り考えていきたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族会の現状と課題</li> <li>・家族とのケアパートナーシップ</li> <li>・家族等介護者への支援と課題</li> <li>・介護者のネットワークづくりの現状と課題</li> <li>・地域のインフォーマルな共同組織活動</li> </ul>	I(介護者を支える)	家族介護者を支える	石川 なんぶやすらぎホーム 施設長 坂口 朋美	東京 白十字ホーム 施設長 西岡 修
J(事務)	福祉施設における事務の役割を考える	<p>事業の多様化、制度改定、厳しい経営環境のなか、「実務の要」としての役割がますます重要になっています。また、行政や地域との関係づくりの上でもその能力を求められています。事務の役割についての議論を深めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉施設における事務部門の役割</li> <li>・事務・総務・総務業務の効率化、経営データの活用・提言</li> <li>・事務部門からみた介護保険制度の問題</li> <li>・施設の民主的運営の課題、各種委員会の事務局など運営への参加</li> <li>・全職員参加の経営、処遇改善へ向けたとりくみなど</li> </ul>	J(事務)	事務の役割を考える	兵庫 甲斐園 施設長 坂間 孝	岡山 もちどり(特養)・ケアハウスちどり 施設長 田邊 牧美



## ～分科会 演題発表のエントリー用紙～

### ☆ 発表エントリー

○共同研究（発表）をおこなう場合は、代表者のみ1名を下記＜発表者名＞に記入の上、＜発表内容＞に共同研究と明記して下さい。共同研究者の氏名記載は、発表原稿本文へお願いいたします。なお、集会当日に共同研究者とともに参加・発表する際は、参加申込用紙に備考欄にその旨記載して下さい。

○希望分科会を記載する際は、分散会番号も忘れずにご記入下さい。（例：A-2やG-3など）

○エントリー受付後、分科会によって演題数の大幅な差異が生じた場合は、実行委員会で演題数の調整を行います。希望する分科会から別の分科会へ移っていただくこともございますのであらかじめご了承下さい。

○パソコン持参の可否については、基本的には事務局で用意をしますが、可と返答があった場合に持参のお願いをさせて頂くことがあります。

施設名		施設住所	〒	
施設種別		TEL		
		FAX		
発表者名		職種	パソ コ ン 持 参	可・不可
第（    —  ） 希望分科会 (分散会番号も忘れ ず)	演題			
発表内容 (簡潔に)				

### ☆ 提出期限

○8月31日（金）必着

### ☆ 提出先・問い合わせ先

○**FAXにて**本用紙を下記までお送り下さい（表紙不要）。**FAX 086-943-3493**

○問い合わせ先

現地実行委員会事務局 特別養護老人ホーム健生園（担当：森）

TEL 086-943-1701      FAX 086-943-3493

メールアドレス [kenseien@circus.ocn.ne.jp](mailto:kenseien@circus.ocn.ne.jp)

## ～PowerPoint を用いての発表についてのお願い～

### 1. 使用機材について

発表に使用する機材はパソコン・プロジェクターとします。パソコン・プロジェクターおよび接続用ケーブルは主催者側で準備致します。（なお、「発表演題募集」応募の際、ノートパソコン持参可とお答えいただいた方には、事務局から個々にお問い合わせする場合がありますのでご了解ください）

### 2. データの事前提出について

あらかじめ、発表データを下記住所に送付いただくこととします。提出はCD-Rにてお願い致します（メール添付はご遠慮ください）。なお、提出の際にはパワーポイントのバージョンを必ずご明記下さい。また、動画の使用は不可です。

また作成の際には、MS明朝、MSゴシック等Windows添付の標準フォントで、写真等を用いる場合は、アクセサリのペイント等で表示される実寸サイズにあらかじめ小さくしたものをご使用いただきますようお願いいたします。

### 3. 発表について

発表時は、各分科会で使用するパソコンのデスクトップにパワーポイントのファイルをコピーしておきませんが、操作は各自で責任を持っておこなって下さい。予め動作確認などは主催者側で実施し、トラブルのないように努めますが、基本的には各自で対応して頂く事となります。ご不明な点がございましたら、下記にご連絡をお願い致します。

### 4. 提出期限：11月22日（木）必着

### 5. 提出先：特別養護老人ホーム健生園（担当：森）

〒704-8105 岡山県岡山市東区吉原231 TEL086-943-1701

## ～各期日を守ってご提出下さい～

### 運営にご協力お願いします(。\_。)

- 「演題募集のエントリー」〆切は、8月31日（金）です。

エントリー用紙に必要事項をご記入いただき、健生園（担当：森）までFAXで送信願います。

FAX番号：086-943-3493

- 「発表原稿」の提出〆切は9月28日（金）です。

EメールにてWordファイルを添付の上、健生園（担当：森）までお送り下さい。

メールアドレス：[kenseien@circus.ocn.ne.jp](mailto:kenseien@circus.ocn.ne.jp)

- 「PowerPointデータ」の提出〆切は11月22日（木）です。

データをCDにコピーの上、健生園（担当：森）までお送り下さい。

送付先：〒704-8105 岡山県岡山市東区吉原231

21・老福連  
第12回職員研究交流集会  
ニュース創刊号



# ららじゅ

発行 21・老福連第12回職員研究交流集会  
実行委員会広報担当  
住所 岡山市東区西大寺2-2-21  
電話 086-944-2266

## ★実行委員長あいさつ★

2011年4月26日の午前7時、私を責任者とする当法人の東日本震災支援団が仙台に向かいました。微力ながらも9日間、現地で活動させていただきました。あれからちょうど一年です。大地震・大津波・原発事故、未曾有の三大災害時だからこそ社会保障・社会福祉はどうあるべきかを昨年の山形集会から引き継ぎ、この思いを「いまこそ福祉復興宣言」というテーマとして、今回の岡山集会でも考えていきたいと思います。

私たち（特別養護老人ホーム健生園）は第4回の広島集会に実行委員として参加して依頼、毎年この職員研究交流集会へは実践報告を持って参加してきました。全国の様々な実践から学び交流することは私どもの施設の実践に大きな影響と励みをいただきました。この研究交流集会に育てていただいたと思っております。

島根・広島の実行委員の方々を合わせて、一人でも多くの高齢者福祉に携わる全国の仲間が希望をもちより、元気を持ち帰れる「21・老福連第12回職員研究交流集会 in 岡山」となれますよう実行委員長としての任を果たしていきたいと思っております。是非とも多くの方々のご参加を、晴れの国岡山にてお待ちしております。



実行委員長 竹永徹  
(特別養護老人ホーム健生園 施設長)

## 集会テーマが決まりました！

いまこそ『福祉復興宣言』  
持ち帰ろう希望、持ち帰ろう元気！



第1回目の職員研究交流集会の実行委員会が開かれたのは、雪がちらつく1月のことでした。昨年の開催地山形から大事なバトンを渡された岡山での実行委員会は、また、集会のイメージも湧かず右往左往する実行委員会の幕開けでした。

2月、3月と実行委員会を重ねていくにつれ交流集会への思いが高まり職員研究交流集会の柱である集会テーマについての話し合いの中では、30以上のキーワードを出し合い集会への思いを語り合いました。どのキーワードも気持ちを前向きにさせる言葉であったり、このテーマで全国の仲間と話し合いたいという課題であったりと、冬から春に向け木々が芽吹くように集会へのイメージが膨らんでいきました。

「震災や原発を忘れないようにしていきたいね」「帰る時、気持ち明るく元気に帰っていきける集会にしたいね」「介護保険の改定でみんな苦労をしているよね、交流したいね」「去年の講演の看取りについてもっと深めていきたいね」 実行委員みんなの気持ちを集会テーマに込め老福連の参加施設の職員の皆様と呼びかけます。——いまこそ『福祉復興宣言』持ち帰ろう希望、持ち帰ろう元気！

実行委員会事務局長 狩野理依



## 「岡山」ってどんな所?

今回は、開催地「岡山」がどんな所か簡単にご案内します。みなさんはどんなイメージをお持ちですか?



ですか?

岡山県は中国山地と四国山地に挟まれ、瀬戸内海にも面しており、温暖で快適な土地として知られています。

また、降水量1mm

以上の日数が日本で最少の県であるため、「晴れの国おかやま」とビールをします。



岡山の代表的な特産フルーツは、桃太郎にちなんだ「桃」と「マスカット」です。



甘みが強くとってもおいしいですよ!フルーツ以外の食べ物では、B級グルメで有名になった「蒜山焼きそば」「津山ホルモンうどん」「ひなせのキャおこ」でしょうか?その他にも沢山美味しい岡山ならではの食べ物がありますので、交流集会の合間に食べ歩きをしてみたいかがでしょうか?観光地もたくさんありますが、会場から行きやすい場所は、岡山城と日本三大名園の一つに数えられている「後楽園」があります。美しい庭園を眺めながら、お抹茶ときびだんごでいっぷく。疲れた体に癒しを求めてみては?

その他、少し移動が必要ですが、一足伸ばして倉敷美観地区、児島のジーンズ



# はじけよう!交流会!

今年も恒例の21・老福連が開催されます!



~ワイルドな交流集会~にしたいなと現地実行委員会担当者は、張り切って準備を始めています。

ということで、「秘密のケンミンショー」ならぬ、全国からの「びっくりするぜ!」「ワイルドだろう~?」というようなお土産をお待ちしています。



全国の「これぞ我が街、自慢の〇〇!!」

という品物をドンドン、ドシドシ持って来てください!

地酒、お菓子、民芸品などなど、お待ちしております。

21・老福連のHPに、交流集会の詳細やお知らせなど、随時ニュースを更新していきます。のぞいてみてくださいね。

この度、研究交流集会をお手伝いすることになりました『ももんじゃ』です。「もも」と「うらじゃ」がまざりあって私が生まれました。みなさん、岡山に来てくださいね!楽しみにしています。



イメージキャラクター  
ももんじゃ

● アクセス

**岡山県総合福祉会館 (1.3 日目全体会会場)**

〒700-0813 岡山市北区石関町 2-1

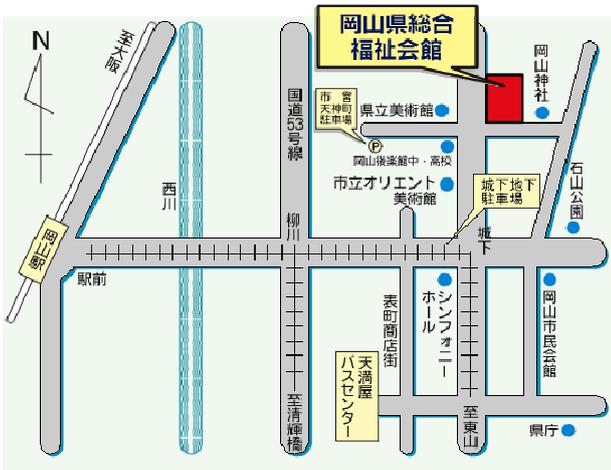
TEL : (086) 226-3501

アクセス(JR 岡山駅より)

徒歩約 15 分

タクシー5分

路面電車=東山行き『城下』で下車 徒歩約 3分



**岡山大学 (2 日目分科会会場)**

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目 1 番 1 号

TEL : 086-252-1111 (代表)

アクセス(JR 岡山駅より)

タクシー：岡山駅西口から約 7 分

バス

① 岡山駅西口バスターミナル 22 番乗り場

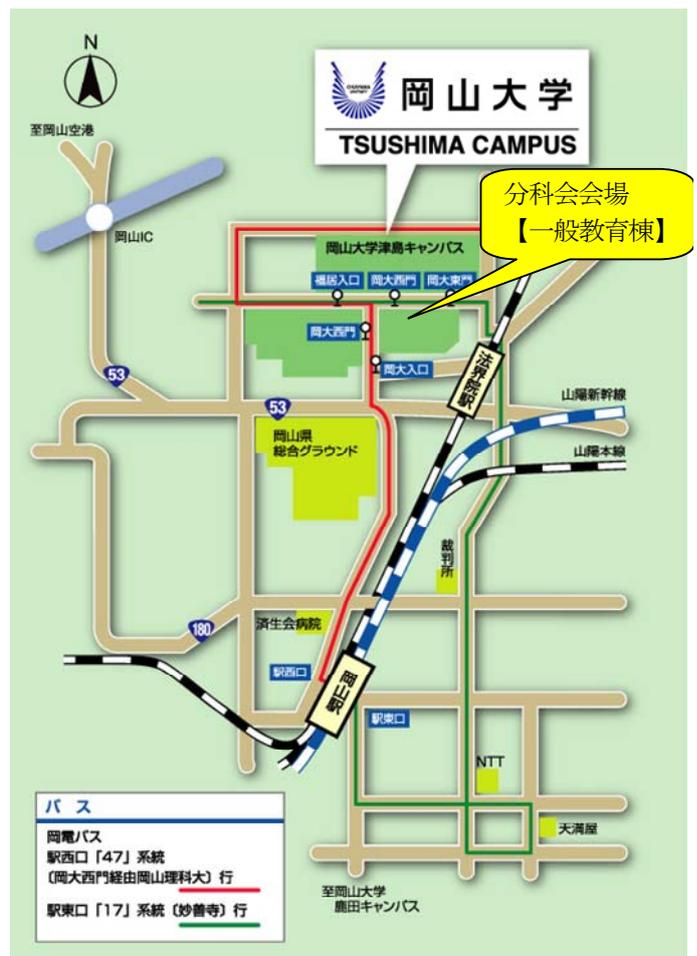
【47】系統「岡山理科大学」行きに乗車

⇒「岡大西門」、又は「岡大東門」で下車※約 7~10 分

② 岡山駅東口バスターミナル 3 番乗り場

【17】系統「妙善寺」行に乗車

⇒「岡大東門」または「岡大西門」で下車※約 30 分



**ホテルグランヴィア岡山 (2 日目懇親会会場)**

〒700-8515 岡山市北区駅元町 1 番 5

TEL 086-234-7000 (代表)

アクセス：JR 岡山駅に直通



## 21老福連 第12回職員研究交流集会 in 岡山 ～参加・宿泊等のご案内～

### 【1】お申込方法のご案内

- ① 参加者は、申込書に必要事項を記入の上、10月8日(月)までに名鉄観光へFAXまたは郵送にてお申込ください。

**お申込締切日：24年10月8日(月) 厳守願います**

- ② お申込受付後、11月上旬に名鉄観光より、参加確認書(参加券・宿泊案内など)と請求書・振込依頼書をお送りします。
- ③ 費用振込みについて  
請求書をご確認の上、11月20日(火)までに指定の振込口座へお振込ください。  
振込み手数料については、お客様ご負担とさせていただきます。

### 【2】21老福連職員研究交流集会 参加費のご案内

参加期間	1日間	2日間	3日間
金額	6,000円	8,000円	10,000円

### 【3】宿泊のご案内

ご宿泊期間 平成24年12月8日(土)、9日(日) ※1泊朝食サ・税込み

記号	宿泊施設名	部屋タイプ	料金(お一人様)	アクセス
1	ホテルグランヴィア岡山	Aシングル	12,500円	岡山駅東口より徒歩3分
		B ツイン	11,000円	
2	三井ガーデンホテル岡山	Aシングル	9,500円	岡山駅東口より徒歩3分
		B ツイン	8,500円	
3	岡山ワシントンホテルプラザ	Aシングル	8,500円	岡山駅東口より徒歩7分
4	後楽ホテル	Aシングル	8,500円	岡山駅東口より徒歩8分
		B ツイン	8,000円	
5	アパホテル岡山駅東口	Aシングル	8,000円	岡山駅東口より徒歩7分
		B ツイン	7,500円	
6	ビジネスホテル岡山サンシャイン	Aシングル	7,500円	岡山駅西口より徒歩10分
7	岡山ビジネスホテルアネックス	Aシングル	7,500円	岡山駅東口より徒歩9分
		B ツイン	7,000円	
8	コンフォートホテル岡山	Aシングル	7,000円	岡山駅東口より徒歩15分 (タクシー5分)
		B ツイン	6,000円	
9	東横イン岡山駅西口右	Aシングル	6,500円	岡山駅西口より徒歩3分
		B ツイン	5,500円	

★同室希望者の方は、参加申込書該当欄にご記入ください。

★宿泊申込の場合(上記記号—客室タイプ番号)ご記入ください。

(例)三井ガーデンホテル岡山シングル希望の場合:2-Aでご記入ください。

### 【3】交流会のご案内

期日：平成24年12月9日（日） 時間：18時  
会場：ホテルグランヴィア岡山 4F：フェニックスの間  
交流会費：9,000円

### 【4】お弁当のご案内

希望販売にて注文をうけたまわります。ご希望の方は、申込書にご記入ください。  
弁当受付日：12月9日（日） 昼食（お弁当）お1人1,000円

### 【5】変更・取消についてのご案内

お客様のご都合で予約を取消された場合、下記の取消料が必要となります。変更・取消の場合は、必ずFAX又は郵送でご連絡ください。  
また、変更・取消後の返金については、本会終了後速やかに行ないますので予めご了承ください。

取消日	参加費	宿泊取消料	弁当取消料	懇親会取消料
申込後	100%	無料	無料	無料
21日目にあたる日以前の解除	100%	無料	無料	無料
20日目にあたる日以降の解除	100%	無料	無料	無料
7日目にあたる日以降の解除	100%	20%	無料	無料
旅行開始日前日の解除	100%	50%	50%	100%
旅行開始日の当日の解除	100%	100%	100%	100%
旅行開始後の解除または無連絡不参加	100%	100%	100%	100%

- ★上記取消料ならびに郵送料の実費を差し引いて、大会終了後に精算致します。
- ★変更・取消などによるご精算は、大会終了後に指定の口座へお振込致します。  
（事務手続き上、多少お時間を頂戴しますので、予めご了承ください）
- ★大会当日のご返金は事務手続き上できません。

### 【6】申込・お問い合わせ先

名鉄観光サービス(株)岡山支店 担当：磯山・深井・伊達  
【営業時間：月～金曜日 9:00～18:00、土・日・祝日休み】  
〒700-0903 岡山市北区幸町 8-29 三井生命岡山ビル 9F  
TEL:086-225-2771 FAX:086-225-7494

**『21・老福連 第12回職員研究交流集会』参加申込書**

**送信先** 名鉄観光サービス(株)岡山支店 担当：磯山・深井・伊達 行 FAX：086-225-7494

申込日：平成24年 月 日

※送付後にご面倒でも確認のお電話をお願いします。TEL：086-225-2771

県名	県	施設名	担当者氏名	電話	( ) ( )
住所	〒	—	氏名	FAX	( ) ( )

No	フリガナ 参加者氏名	性別	職名	参加費			交流会 12月9日 (日) 9,000円	宿泊希望日 ※ホテル記号を記入ください			分科会12/9(日) 座長・記録・助言者・ 発表者の方は役割の欄 にご記入下さい。	備考 (ツイン 同泊者、 禁煙・喫 煙等)	名簿への 氏名記載 の可否 ※記入欄 れの場合 可と判 断させて 頂きます。			
				1日間参加費 6,000円	2日間参加費 8,000円	3日間参加費 10,000円		ホテル希望	12/8 (土)	12/9 (日)				第1希望	第2希望	役割
例	オカヤマ タロウ 岡山 太郎	男	施設長	○	○	○	○	第1希望 1-B	第2希望 1-A	G-2	G-3	座長	岡山一朗 林理	X		
1																
2																
3																
4																
お申込金額計算欄				参加費計	円	交流会費計	円	宿泊費 第1希望 基準	12/8 泊計	円	12/9 泊計	円	弁当代	円	合計	円

<注意事項>※ツインルームご希望の場合は必ず同室者名をご記入ください。※郵送の場合は必ず控えをおとりください。※4名以上の場合はコピーをしてお使いください。

<返金先口座記入欄> (送金の際、手数料は差し引いて下記口座にて清算いたします。口座名義はカタカナにて記入下さい) 申込締切：10月8日(月)

金融機関名	銀行	支店名	支店番号	口座番号	普通・当座	口座名義
-------	----	-----	------	------	-------	------

※ 当申込書に記載された個人情報、運営管理の目的のみに使用いたします。

※ 手続通致が必要な場合は「現地実行委員会事務局」までご連絡をお願いいたします。